

Estuary 072



エスチュアリ

★エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

いしかり砂丘の風資料館だより

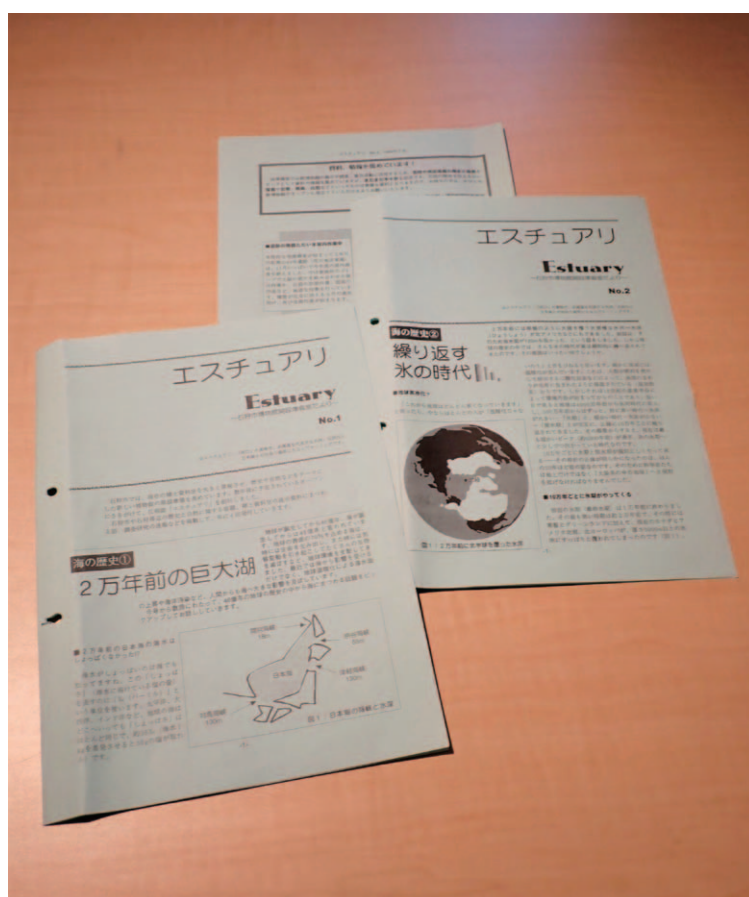
■資料館のあゆみと20年一記録からつなぐ石狩のモノ・コト

いしかり砂丘の風資料館がオープンしたのは2004年、今から20年ほど前のことですが、その歩みはオープン前から続いています（2頁参照）。

本紙・資料館だより「Estuary（エスチュアリ）」の発行がその一つです。第1号は、石狩市博物館開設準備室だよりとして1998年7月に発行され、いしかり砂丘の風資料館オープン後は「いしかり砂丘の風資料館だより」として継続して発行されてきました。なかでも、博物館資料（寄贈資料、収集資料、発掘調査による考古資料、標本など）を紹介するトピックは、資料の由来・来歴、収集・展示の経緯、地域資料としての価値などが記され、石狩の自然・歴史・文化とのかかわりを知る大事な情報・記録の蓄積になっています。

石狩市の広報誌『広報いしかり』に学芸員が執筆しているコラム「いしかり博物誌」も、1999年7月に第1回が始まりました。その連載は世代を超えて26年を経た今も続いており、まもなく第200回を迎えようとしています。

20年以上前から地道に紡がれてきた地域の歴史や文化にかかわるモノ・コトを、さらに次の世代へどのように伝えていくのか。新たな20年後に繋いでいくための資料館の知恵と工夫が求められています。（学芸員 荒山千恵）



石狩市博物館開設準備室だより「エスチュアリ」

No.1～3の発行当初のだよりを見ると、「資料、情報を集めています！」の囲み記事があり、石狩や周辺地域の歴史と自然をテーマとした資料収集を呼びかけています。

エスチュアリ71号・72号では、いしかり砂丘の風資料館の20周年をトピックに、これまで紡いできた活動や、これからも繋げてゆく取組にふれながら、その歩みを振り返ります。

Ishikari Local Museum

20th
anniversary

いしかり砂丘の風資料館のあゆみ

－開館前後と関連する出来事－

- 1982（昭和57） 石狩町公民館（旧石狩中学校校舎）に石狩町郷土資料室を開設
- 1987（昭和62） 石狩町公民館花畔分館に「サツラク樽川酪農記念館」の資料を移動し、「酪農資料室」を開設
- 1994（平成06） 石狩町役場移転により旧役場庁舎を改装し、石狩町郷土資料室を移設
- 1996（平成08） 市制施行により石狩市となる（9月1日）
- 1997（平成09） 文化財・博物館開設準備室を石狩市教育委員会に設置
- 1998（平成10） 「エスチュアリ～石狩市博物館開設準備室だより～」の発行を開始
・No.21（2004年9月発行）より、「いしかり砂丘の風資料館だより」として継続
- 1999（平成11） 7月より、『広報いしかり』に「いしかり博物誌」の連載を開始
※2025年11月号で第200回予定
- 2003（平成15） 旧役場庁舎解体のため石狩市郷土資料室を閉室
新施設（旧石狩番屋の地ビールレストラン）の改装工事
- 2004（平成16） **いしかり砂丘の風資料館**の開館（4月27日）
・第1回 野外講座「石狩ビーチコーマーズ」が始まる
・第1回 体験講座「勾玉づくり」が始まる（資料館ボランティア「いしかり砂丘の風の会」主催）
「石狩ファイル」の発行を開始（石狩ファイル編集委員会）
- 2005（平成17） 旧石狩市・厚田村・浜益村の合併
石狩市の展示施設が厚田資料室（平成30年閉室）、はまます郷土資料館との3つになる
・特別展「サケの考古学－紅葉山49号遺跡と北の鮭漁の歴史－」を開催
- 2006（平成18） 第1回 連続講座「石狩大学 博物学科」を開催
※2008年より、連続講座「石狩大学 博物学部」の名称で開催
- 2007（平成19） いしかり砂丘の風資料館の隣に旧長野商店を移設・公開
※旧長野商店：市指定文化財／木骨石造建造物（明治）
- 2011（平成23） 『いしかり砂丘の風資料館紀要』の刊行を開始
トークイベント「ウミベオロジー／石狩海辺学」が始まる
（いしかり館ネットワーク主催）
- 2014（平成26） いしかり砂丘の風資料館 開館10周年
・10周年記念テーマ展「川と人と漁－遺跡にみる縄文の河川漁－」を開催
- 2021（令和03） 旧石狩小学校円形校舎の一般公開を開始
※昭和31年に完成した北海道最古級の円形校舎／2020年3月末で閉校
- 2024（令和06） いしかり砂丘の風資料館 開館20周年
・20周年記念特別展「石狩十大事件 何が現在の石狩をつくった？」を開催



石狩町郷土資料室



いしかり砂丘の風資料館 開館前・展示資料の搬入



いしかり砂丘の風資料館 開館セレモニー



旧長野商店の公開



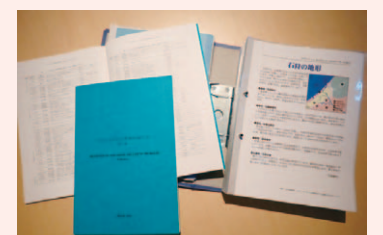
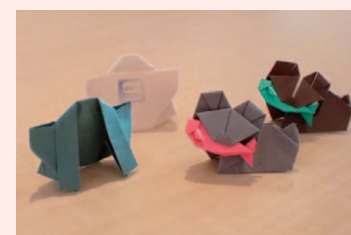
常設展「漂着物からのメッセージ」
石狩ビーチコーマーズとともにポケット
の中が少しずつ変わっていきます！



手動マシンによる缶のフタ閉め体験
開拓使石狩缶詰所の復刻ラベルを貼って
思い出のカプセルに！



常設展「縄文人の道具箱」
石狩紅葉山49号遺跡の紹介



開催行事

令和7(2025)年度行事予定

◆いしかり砂丘の風資料館で開催するテーマ展・特別展

	展 示 名	開催時期（予定）
1	テーマ展 石狩の巻貝	4月26日（土）～6月15日（日）
2	特別展 新・市指定文化財展 「紅葉山33号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）」（仮）	7月2日（水）～11月3日（月・祝）
3	テーマ展 資料館のお宝 2026	1月～3月（日程調整中）

◆講座・イベント

	講 座 名	開催日（予定）	会 場	定員 （予定）
1	野外講座 石狩ビーチコーマーズ ／春の海辺の漂着物	4月20日（日）	石狩浜・いしかり砂丘 の風資料館	20人
2	特別展関連講演会	特別展期間中にシリーズ 2回で開催予定	（調整中）	①30人 ②30人
3	体験講座 海辺の標本箱をつくる	8月2日（土）	旧石狩小学校・ 石狩浜	10人
4	体験講座 紅葉山33号遺跡出土の漆塗り 弓の文様でコースターを作る（仮）	秋期（日程調整中）	（調整中）	10人
5	トークイベント ウミベオロジー ／石狩海辺学 2025	秋期（9月頃）	紀伊國屋書店 札幌本店（予定）	－
6	野外講座 石狩ビーチコーマーズ ／秋の海辺の漂着物	10月（日程調整中）	石狩浜・いしかり砂丘 の風資料館	20人
7	連続講座 石狩大学博物学部	1～2月 シリーズ2回で開催予定	（調整中）	40人

編集後記

20周年という節目をととして、展示資料や講座の開催が、残したい・伝えたい、という地域の方々の想いや関心によって紡がれてきたことを、改めて実感する機会になりました。4月からは21年目、また新たな一歩の始まりです（あ）。



2004年3月に撮影された正面看板

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分
 休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
 入館料 大人：300円、中学生以下：無料
 団体料金240円（15名以上）
 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
 「石狩温泉」下車、徒歩1分
 （石狩温泉「番屋の湯」となり）

いしかり砂丘の風資料館だより

エスチュアリ No.72



2025（令和7）年3月31日 発行
 いしかり砂丘の風資料館
 （石狩市教育委員会社会教育部文化財課）

〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
 TEL:0133-62-3711 FAX:0133-77-5011
 bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
<https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>